

会 議 録

会議名	山形市総合教育会議
開催日時	平成28年11月9日(水) 13:30~15:00
開催場所	山形市役所3階 庁議室
出席者	佐藤孝弘市長、荒澤賢雄教育長、須賀まり子委員、無着道子委員、 金村勲委員
(陪席)	岩田雅史総務部長(欠席)、庄司新一企画調整部長、 小野徹子育て推進部長
(事務局)	阿部謙一教育部長、高橋勇管理課長、鈴木一尋学校教育課長、 佐藤雅俊社会教育青少年課長、石川一幸スポーツ保健課長
協議事項	(1) 山形市教育大綱案について (2) その他

会議経過

1. 開会 高橋管理課長
2. 挨拶 佐藤市長、荒澤教育長
3. 協議事項 座長 佐藤市長

(1) 山形市教育大綱(案)について

阿部教育部長より説明

① 大綱案に対する意見(文言等について)

須賀委員…基本方針4について、「幼稚園や保育所等・学校」となっているが、「幼稚園・保育所等・学校」でよいのではないか。

佐藤市長…「や」を「・」にする。

金村委員…基本方針「保育所等」の「等」について、作成に関わってきた者は「等」に何が含まれているか理解できるが、一般の方には理解しがたいのではないか。

佐藤市長…幼児を預ける場所一般として理解していただけたと思う。

ご意見をいただいたところを修正した内容で山形市教育大綱を策定してよいか。

→全員一致で承認

② 感想（今後の山形市の教育に対する期待等）

【佐藤市長】

真剣に考えていただいたことに感謝している。すべての教育の基本となる大綱が策定されたことは、山形市にとって重要な一歩となった。

インターネットの普及以降、様々な場面で基本的なことを軽視し目先のことしか見ていないようなことが横行しているように感じる。教育に関しては一番そういうことをしてはいけない。大綱を揺るがすことなき土台として様々な政策を考えていかなければならない。

山形市の魅力を高めて、人が集まり、住みたくくなるような市を目指すうえで教育は重要である。山形市の小中学校はよい環境になっていると思うが、さらによくするうえで、皆様からの助言をお願いしたい。

【荒澤教育長】

現在の山形市教育委員会が行っている事業が大綱と合致しているのかを確認しなければならない。また、来年度に向けてのことになるが、平成22年2月に策定された山形市教育基本計画を、山形市教育大綱に照らして改善していかなければならない。視点を明確にして作業できればと思う。

大綱の基本理念、教育基本計画にあるように、山形市は命の教育を大事にしてきた。これからも大事にしていかなければならない。先人から受け継いできた山形らしさ、山形の良さを受け継ぐだけでなく、新しい視点、広い視点からとらえなおして、発信していく人づくりが、まだ学校教育の場で足りない。重きを置かなければならない。

基本方針1について、「より良い社会を築く子どもを育成します」と表現しているが、義務教育の基本的な役割の一つとして、よりよい公民を育てることがあると認識している。選挙権が18歳まで引き下げられ、主権者教育が叫ばれていることも併せて、校長先生やPTAの方々と、よりよい社会を築く子どもの育成について学校で何ができるか、語り合っていきたい。

基本方針3について、グローバル化が進展している中で、世界の中の山形市を意識する人材の育成はスタンダードになると考えている。義務教育の段階でも、世界への目を広げるとともに、広い視野のベースとなる山形市の良さを誇りに思える子どもを育てていきたいと強く思う。

基本方針4について、家庭教育の充実を真剣に考えていかなければいけないと感じている。市長と学校長代表との懇談の中でも、家庭の教育力不足については話に出ている。家庭の教育力不足に起因する生徒の問題行動が10、15年前とは比べ物にならない程増えていると感じている。子どもの指導の前に、親への指導が必要という現状であるが、教育基本法第10条に「父母、その他の保護者は子の教育について第一義的に責任を有する」と明記されている意味をとらえて、学校と家庭・地域が連携しながら、それぞれの教育力向上に努めていきたい。

基本方針5について、特別な配慮を要する子どもの数が年々増えている状況である。

将来の自立と社会参加を目指した指導の工夫と環境の整備についてさらに努力していきたい。今年度、障がい者差別解消法が施行されたが、インクルーシブ教育に向けて、どの学校でも互いに尊重し合い、支え合う、穏やかで温かい学校をつくっていきたいと思っている。このことは、特別な配慮を要する子どものためだけでなく、多様な個性を尊重することで、いじめ問題の未然防止にもつながっていくと思う。

基本方針6について、来年には南東北インターハイ、4年後には東京オリンピック・パラリンピックのホストタウンとしてアスリートの合宿が計画されている。市民・子どもたちの関心を高める絶好の機会であるため、意識して取り組みたい。

【須賀委員】

策定にあたり、時間をかけて丁寧に作業をしていただいたことに感謝したい。他市町村の大綱と比べると、山形市は人づくりを中心としており、ソフト面での大綱というはっきりした方向性が見える。これを実行するには、今後の施策をしっかりと考えていかなければいけない。市長には、今後の具体的な施策のバックアップをお願いしたい。

大綱には、今まで取り組んできたことはもちろんのこと、「途切れのない指導」等の今まで不十分だったものも含まれている。数年後に大綱を見返したときに、具体的にどのようなことをしてどのような結果が出たのかを説明できるように取り組んでいかなければいけない。

基本方針6に「生涯にわたってまなび続け」とあるが、高校生以降の大人の学び続けるための場所（受け皿）も少ないと思うので、考えていかなければならない。

【無着委員】

丁寧に対応していただき、また自分自身も学ぶことができたため感謝している。大綱をもとに今後どのように実践していくかが重要であると思う。

生徒自身が抱えているものだけではなく、環境や背景にあるものが複雑であり、多くの場面で、保護者に寄り添っていくことも大事だと感じている。何事でも深い信頼関係が土台である。子どもにとって学校の中のすべてが学びであるため、いかに安心・安全に過ごせるかということにつなげていくかが課題である。

特別な配慮を要する子どもへの将来へ向けた支援が不足しているように感じていたため、基本方針5を盛り込んでいただいたことはありがたい。障がいあるなしに関わらず、みんなが生き生きと明るく生きていくことができるようにするために、継続した支援が大事である。

今後、どういうことが具体的に必要になっていくか学ばせていただければと思う。すべての出会いに感謝しながら引き続き頑張っていきたい。

【金村委員】

様式がコンパクトで読みやすく、理解しやすいものになっている。

教育は学校教育と社会教育に分かれているが、学校教育を基盤にして、将来的に社会教育への参画という理念がしっかりと大綱に盛り込まれていてよいと思う。

③ 今後のスケジュールについて

阿部教育部長より説明

(2) その他

① 来年度以降の総合教育会議の持ち方について

阿部教育部長より、来年度以降の総合教育会議の開催頻度、開催時期、テーマについて提案。

→意見なし

4. その他 金村委員より感想

5. 閉会 高橋管理課長